

前衆議院議員

# 木原誠二

## 活動報告書

### せいじ便り 35号

揺るぎなき挑戦!!



# 日本外交の建直しを

## 民主党外交の失敗

人材開発関連の中堅企業でサラリーマン生活を開始して早1年。会社はアジア展開を進めており、私も中国担当として仕事をしています。

財務省勤務時代は、イラク復興支援やインドネシア破綻支援などの国際交渉に臨み、英国大蔵省出向時代にも英国政府代表として金融犯罪取り締まりの国際枠組み作りの交渉にも臨みましたが、久しぶりに国際経済の現場に身を置いていると、最近の日本外交の漂流ぶりには怒りすら覚えます。

尖閣問題から始まる民主党政権の外交力の欠如から学ぶべきことはなんでしょう。

## お友達作りの大切さ

外交の基本は、①友達をできる限り多くもつこと、②その友達を大切にすること、③友達以外には隙を与えないこと、④自分の強みと弱みをしっかり認識すること、⑤明確なメッセージを出すこと。

ところが、民主党政権は、このいずれもが出来ていません。

第一に、お友達を大切にしなかったこと。「米国はお友達だからきつと分かってくれる」と勝手に考えて、「国外移設だ、県外移設だ」と見通しも

ない約束をして、普天間基地問題などで米国をないがしろにしてみました。米国との微妙な隙間風につけこんで、中国やロシアが動いたことは間違いありません。

第二に、友達を増やす努力を怠っていること。評判の悪かった自民党最後の麻生政権ですが、よいこともしていました。その二つが、エコポイントやエコカー減税などの経済対策。そしてもう二つが、「自由と繁栄の孤」という新たな外交政策でした。「自由と繁栄の孤」とは、モンゴルやキプロスといった中央アジアやコーカサスの国々、インドネシアやタイなどのASEAN諸国、大国インドやトルコ、との間をつないで、共産主義国家中国を取り囲んでいこうという戦略です。

ところが、民主党政権は、この戦略をあつさりとは捨ててしまいました。結果的に、一時興味を示していたロシアまで中国側に追いつてしまいました。



地元の皆様と国会見学

明確なメッセージが出ない

第三に、明確なメッセージが常に出せないこと。例えば、先般の北朝鮮による大延坪島に対する砲撃の際には、①北朝鮮への明確な非難、②韓国への心からの弔意と強い支持表明、③日米韓の結束の呼び掛け、④国民に対する冷静な対応の依頼、といった基本的な立場を迅速に出すことが必要でした。

ところが、日本政府の正式な見解は事件発生から7時間近くたった9時間前。対照的に、時差があつて深夜から未明の米国は、日本時間で6時には既に生命を出していました。時差もない隣国の我が国が遅れをとつて、結果的に、韓国に対して友人としての立場を示す機会を逸しました。

今後の方向性

外交建直しは急務です。その第一は日米同盟の強化です。韓国同様、日米の共同の軍事演習などに取組むべきです。第二に、麻生政権の「自由と繁栄の孤」を復活して、中国困い込み戦略を着実に実行していくこと。とりわけ、ASEAN、インドとの連携を強めること。第三に、日本の強みである経済を立て直すこと。経済力のない日本と「友達になりたい」と思う国は多くはありません。

大臣を国会から解放しよう

私のかねてからの主張ですが、「内閣、大臣を国会から解放する」必要があります。政治主導が言われますが、役所の執務室に座っていない大臣に政治主導など夢のまた夢。

現在の仕組みでは、大臣は、朝9時〜夕方6時まで国会での質疑に追われ、役所にはほとんどいません。18時に国会から戻る大臣の帰りを待つて決裁を取ろうとする役人の長蛇の列に並ぶ経験を私も幾度となくしてきました。これでは、大臣が官僚に仕事の指示をするなど困難です。

一つの事例ですが、先日の北朝鮮の砲撃の二日後には、菅総理、前原外務大臣が、朝からずっと予算委員会に出席して、与野党からの質問に答えていました。しかし、本来内閣がすべきことは、米韓中と密接に連携をとり、情報分析を進め、国内での対策に万全を期すこと。その陣頭指揮にあたるべき総理、外務大臣が国会にずっといるというのは、違和感があります。

同じような質問に何回も答える時間があるなら、官邸や外務省の執務室に入つて、官僚のブリーフを受け、各国と連絡を取り合い、やるべき仕事はいくらでもあります。

会社が危機的状況にあつて社長が陣頭指揮をとらねばならないときに、取締役会ならまだしも、株主総会に一日中はりつきでは、国家統治として大いに問題です。

無責任体質で統治能力も欠如する菅政権に塩を送るつもりは毛頭ありませんが、内閣・大臣がじっくりと仕事に取り組める環境づくりのために、国会審議の在り方を見直すときです。

コラム

サラリーマン日誌

私が働く虎ノ門・新橋界隈のレストランの紹介を二つ。名前はパスタのハンゲリータイガー。麺は極太、味付けはやや和風。何よりも名物おかみさん。昼間は50メートル近い長蛇の列が出来る有名店です。値段は1000円前後とランチにしてはちょっと割高ですが、ボリュームはビックリ。一度お試しください。



木原せいじプロフィール

年金・医療・介護、障害者福祉、行財財政改革、公務員制度改革、都市農業など幅広く活動を展開。  
1970年6月東京生まれ。私立武蔵高校、東京大学法学部、ロンドン大学LSE修士卒業。平成5年大蔵省入省。平成17年9月衆議院初当選。著書に「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)

木原せいじ事務所

東村山事務所  
〒189-0013 東京都東村山市栄町2-22-13  
松岡ビル2F  
TEL 042-392-4105 FAX 042-392-4106

オフィシャルブログ  
<http://ameblo.jp/kiharaseiji/>  
twitter ID  
[http://twitter.com/kihara\\_seiji](http://twitter.com/kihara_seiji)



木原せいじ公式  
モバイルサイト  
<http://kiharaseiji.com/k/>  
携帯電話から木原せいじ  
モバイルにつながります。